

科目区分	専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅲ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 人体の器官・臓器の形態・構造と機能、およびそれらが互いに作用しあう機構であることと日常生活行動のしくみについて理解し、科学的視点を踏まえた看護実践を行うための基礎的能力を養う。</p> <p>目標: 1 栄養の消化と吸収の構造と機能を理解できる。 2 体液の調節と尿の生成を理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 栄養の消化と吸収	20	1 口・咽頭・食道の構造と機能 2 腹部消化管の構造と機能 3 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 4 腹膜の構造	
2 体液の調節と尿の生成	9	1 腎臓の構造と機能 1) 腎臓の構造 2) 腎臓の機能 (1) 尿生成のメカニズム (2) 体液の調整	
	1	試験	
評価方法	筆記試験		
テキスト	医学書院 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 廣川書店 カラースケッチブック解剖学 第4版 医学教育出版社 解剖トレーニングノート 第7版 サイオ出版 ワークアウト解剖生理ブック		
参考資料			
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。		
備考			

科目区分	専門基礎分野	授業科目	解剖生理学Ⅳ
講師名		実務経験の有無	無
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 人体の器官・臓器の形態・構造と機能、およびそれらが互いに作用しあう機構であることと日常生活行動のしくみについて理解し、科学的視点を踏まえた看護実践を行うための基礎的能力を養う。</p> <p>目標: 1 情報の受容と処理のメカニズムを理解できる。 2 日常生活行動における人体の生理的機能のメカニズムを理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 情報の受容と処理	24	1 神経系の構造と機能 1) 神経の構造 2) 神経伝達のメカニズム 2 脊髄と脳 1) 脊髄の構造と機能 2) 脳の構造と機能 3 脊髄神経と脳神経 1) 脊髄反射 2) 脳神経12対 4 脳の高次機能 1) 高次機能とは 2) 高次機能に関する脳の機能 5 運動機能と下行伝道路 6 感覚機能と上行伝道路 7 眼の構造と視覚 8 耳の構造と触覚・平衡覚 9 味覚器と味覚 10 嗅覚器と嗅覚 11 疼痛	
2 日常生活行動における人体の生理的機能のメカニズム	5	1 日常生活行動 1) 食事行動 2) 排泄行動 3) 移動	
	1	試験	
評価方法	筆記試験		
テキスト	医学書院 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 廣川書店 カラースケッチブック解剖学 第4版 医学教育出版社 解剖トレーニングノート 第7版		
参考資料			
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。		
備考			

